

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	公民	科目	公共	学年	第2学年	類型	
単位数	2単位	教科書	高等学校 新公共（第一学習社）				
補助教材							

学習目標	<p>人間と社会の在り方について見方、考え方を働かせ、現代の諸課題を追及、解決する活動を通して以下の資質能力の育成を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 諸資料から必要な情報を効果的に調べまとめる能力。 2 多面的・多角的な視野および公正な判断力、社会参加を視野に入れた議論する力。 3 現代社会に生きる公民としての自覚。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る 私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に参画する自立した主体、公共的な空間とのかかわりについて理解する。 ・伝統や文化などに触れ、他者の価値観を尊重する必要性について理解を深める。 	中間考査
	5月	第2章 公共的な空間における 人間としての在り方生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の取り組み、知恵などから社会に参画する際に選択・判断するための概念や理論を理解する。 	
	6月	第3章 公共的な空間における 基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本原理を理解する。 	期末考査
	7月	第2編 自立した主体としてよりよ い社会の形成に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法や法律によって社会秩序が形成、維持されていることを理解する。 	
2 学期	8月	第1章 法的な主体をとる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義や役割を理解し、法やルール制定にあたって配慮すべきことを理解する。 ・契約とそれに伴う責任について理解する。 	中間考査
	9月	第2章 政治的な主体となる私 たち	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のため司法参加、政治参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 ・人権、国家・主権、領土に関する国際法の意義、国際社会における諸課題などについて学習し、国際的な組織の役割や国際社会における日本の果たすべき役割を考察する。 	
	10月	第3章 経済的な主体となる私 たち	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化や情報化、少子高齢化などが進む現代社会において、将来の働き方や財政や社会保障について考えを深める。 	期末考査
	11月			
3 学期	1月		<ul style="list-style-type: none"> ・経済がグローバル化するなかで、貧富の格差などの問題について、国際社会および私たちがどのように向き合うのか考えを巡らせる。 	学年末考査
	2月			
	3月	第3編 持続可能な社会づくり の主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向け、役割を担う主体として自覚し、多面的・多角的な視野を持って課題探究に取り組む。 	

学習の方法	<p>授業内容をしっかりと理解することはもちろんですが、得た知識を現代のさまざまな問題に関連させたり、発問やグループワークに主体的に取り組み、知識をアウトプットしたりすることも重要になります。そのために、普段から時事ニュースに関心を持ち、社会で起こるさまざまな出来事について自らの問題として考えていく習慣を身に付けましょう。</p>
-------	--

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価の観点	<p>現代の諸課題について考えを深め、その知識を身に付けている。また諸資料から、活動するために必要な情報を適切に調べ、活用している。</p>	<p>現実社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的な広い視野をもって考察し、合意形成、社会参画を視野に入れた議論ができています。</p>	<p>現実社会の諸課題に対し関心を高め、追及するとともに、社会参画する主体として、対話、協働する態度を身に付けている。</p>
評価方法	<p>・授業態度、グループワークの参加度や授業プリントの活用状況を点検して評価します。 ・資料をもとに、思考・判断する能力を小テストや定期考査の問題等で評価します。</p>		